

# 平成17年度「福井元気宣言」推進に係る政策合意の取組結果

(平成18年3月末現在)

「福井元気宣言」の4つのビジョンを着実に実現していくため、平成17年4月に知事と合意をした「政策合意」の取組結果について、次のとおり報告します。

平成18年3月

産業労働部長 藤原 宣章

## I 総括コメント

- ・産力強化については、「最先端技術のメッカづくり基本指針」に基づく5つの技術分野の研究会を設置、「福井県知的財産活用プログラム」に基づく国際特許出願支援、県の補助制度や国の競争的資金を活用した産学官共同研究の支援、伊藤忠商事との共同事業の推進等に取り組みました。
- ・企業誘致については、「アタック500」をスローガンに、企業誘致に総力を挙げて取り組んだ結果、「㈱アドバンスクリエイト」や「第一稀元素化学工業㈱」などの工場新增設につなげることができました。
- ・「15,000人の雇用創出」については、「福井県雇用創出プラン」を着実に推進した結果、平成17年度に3,200人(平成18年3月末見込)の雇用を創出し(H15～17:13,823人(進捗率92.2%))、完全失業率が2.7%(平成17年平均)と2年連続全国一になりました。
- ・「ビジットふくい」については、季節毎に現場に向いた観光客からの意見聴取、観光プロデューサーによる新たな旅行商品開発を行ったほか、国民文化祭産業文化フェスティバルにあわせて「ふくい菓子博2005」を開催し、本県の菓子を広くPRしました。また、中高年齢層や女性をターゲットにおいた観光客誘致、県外の小中学校の訪問などによる教育旅行の誘致を実施しました。
- ・「5000の新規創業」については、民間企業で豊富な経験を持ち、企業経営に精通したプロジェクトマネージャー、サブマネージャーを引き続き配置するとともに、商工会議所と連携を強化することなどにより、平成17年度は1,322社(推計値)の新規創業が創出(H15～17:3,803社(推計値))されました。
- ・福井駅西側の商業基盤施設(アーケード)の整備、チャレンジショップなどの中心市街地の活性化、東アジアにおける県内企業の出展等への支援、上海事務所ビジネスコーディネーターの利用促進などの県内企業の販路開拓支援等に取り組み、目標を達成することができました。
- ・県内産業の振興のために、敢えて高い目標を設定した知的財産活用促進など3項目が目標達成に至りませんでした。しかし、果敢に挑戦したこの1年間の努力は必ず次の高いレベルへの目標達成につながるものと確信します。県民が具体的な成果を一層実感できるような「元気な産業」の実現に向けた目標に、チャレンジして取り組みます。

## II 「政策合意」の取組項目に係る結果について

- ・別紙「平成17年度 取組項目に係る結果報告(産労部)」のとおり

## 平成17年度 取組項目に係る結果報告(産業労働部)

(平成18年3月末現在)

### 【取組結果の区分】

- ・目標を上回って達成しました。(例:成果が目標を概ね2割を超えて達成されたもの)
- ・目標を達成しました。(例:成果が目標どおり達成されたもの)
- ・目標を一部達成しませんでした。(例:成果の一部が目標に及ばなかったもの)
- ・目標達成にはいたりませんでした。(例:成果が目標に及ばなかったもの)
- ・取組を継続します。(例:成果をあげるためには年度を超えて取り組む必要のあるもの)

役職	産業労働部長	氏名	藤原 宣章												
取組項目		取組結果													
<p>○重点項目</p> <p>1 産力強化</p> <p>福井県産力戦略本部において策定した「最先端技術のメッカづくり基本指針」に基づき、国の公募提案型競争的資金を活用し、最先端技術の創造を目指す技術分野で、60社程度の企業が参加する5つの研究会を設置するなど、新たな産業クラスターの形成に向けた具体的な取組みを開始します。</p>		<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>平成17年8月に設置した「ふくい未来技術創造ネットワーク推進会議」のもと、最先端技術分野で5つの研究会を設置しました。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">研究会参加企業数</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">延べ111社</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">(うち県内企業延105社)</td> </tr> <tr> <td>公設試験研究機関研究者参加数</td> <td style="text-align: right;">67名</td> </tr> <tr> <td>可能性試験調査研究テーマ数</td> <td style="text-align: right;">11テーマ</td> </tr> <tr> <td>技術情報セミナー等の開催数</td> <td style="text-align: right;">6回</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">" の参加数</td> <td style="text-align: right;">延べ約800名</td> </tr> </table> </div>		研究会参加企業数	延べ111社		(うち県内企業延105社)	公設試験研究機関研究者参加数	67名	可能性試験調査研究テーマ数	11テーマ	技術情報セミナー等の開催数	6回	" の参加数	延べ約800名
研究会参加企業数	延べ111社														
	(うち県内企業延105社)														
公設試験研究機関研究者参加数	67名														
可能性試験調査研究テーマ数	11テーマ														
技術情報セミナー等の開催数	6回														
" の参加数	延べ約800名														
<p>県内企業の知的財産の活用を促進するため、「福井県知的財産活用プログラム」に基づき、ものづくりにおいて重要な知的財産に関する意識啓発や、国際的な事業展開を目指す県内企業の国際特許出願の支援などを行います。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">知的財産セミナー参加者数</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">300名</td> </tr> <tr> <td>国際特許出願支援件数</td> <td style="text-align: right;">6件</td> </tr> </table> </div>		知的財産セミナー参加者数	300名	国際特許出願支援件数	6件	<p>〔成果等〕 目標達成にはいたりませんでした。</p> <p>知的財産に関する意識効用のためのセミナーを4回開催しました。また、国際特許を活用した国際ビジネス展開を図る県内企業に対して、国際特許出願経費の一部を助成しました。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">知的財産セミナー参加者数</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">282名</td> </tr> <tr> <td>国際特許出願支援件数</td> <td style="text-align: right;">5件</td> </tr> </table> </div>		知的財産セミナー参加者数	282名	国際特許出願支援件数	5件				
知的財産セミナー参加者数	300名														
国際特許出願支援件数	6件														
知的財産セミナー参加者数	282名														
国際特許出願支援件数	5件														
<p>優れた技術・製品を有する県内企業の競争力強化や販路拡大を図るため、伊藤忠商事との戦略提携に基づき、共同で県内企業の技術開発のサポートや製品のマーケティングなどの支援を行います。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">伊藤忠商事との共同支援件数</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">10件</td> </tr> </table> </div>		伊藤忠商事との共同支援件数	10件	<p>〔成果等〕 目標達成にはいたりませんでした。</p> <p>平成16年度の3社に対する支援に加え、平成17年11月には、新たに4社に対し支援を行うことを決定し、販路開拓や共同開発などの支援を行っています。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">伊藤忠商事との共同支援件数</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">7件</td> </tr> </table> </div>		伊藤忠商事との共同支援件数	7件								
伊藤忠商事との共同支援件数	10件														
伊藤忠商事との共同支援件数	7件														
<p>2 積極的な企業誘致活動の展開</p> <p>「アタック500」をスローガンに「福井の営業マン」としての気概を持ち、先端技術産業や雇用吸収力の高いコールセンターなどの誘致に総力を挙げて取り組みます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">企業訪問</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">延べ500社</td> </tr> <tr> <td>企業立地件数</td> <td style="text-align: right;">15社</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">(平成17年)</td> </tr> </table> </div>		企業訪問	延べ500社	企業立地件数	15社		(平成17年)	<p>〔成果等〕 目標を上回って達成しました。</p> <p>「アタック500」をスローガンに、企業誘致に総力を挙げて取り組んだ結果、「㈱アドバンスクリエイト」や「第一稀元素化学工業㈱」などの工場新增設につながりました。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">企業訪問</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">延べ600社(3月末見込)</td> </tr> <tr> <td>企業立地件数</td> <td style="text-align: right;">31社(平成17年)</td> </tr> </table> </div>		企業訪問	延べ600社(3月末見込)	企業立地件数	31社(平成17年)		
企業訪問	延べ500社														
企業立地件数	15社														
	(平成17年)														
企業訪問	延べ600社(3月末見込)														
企業立地件数	31社(平成17年)														

# 平成17年度 取組項目に係る結果報告(産業労働部)

(平成18年3月末現在)

### 【取組結果の区分】

- ・目標を上回って達成しました。(例:成果が目標を概ね2割を超えて達成されたもの)
- ・目標を達成しました。(例:成果が目標どおり達成されたもの)
- ・目標を一部達成しませんでした。(例:成果の一部が目標に及ばなかったもの)
- ・目標達成にはいたりませんでした。(例:成果が目標に及ばなかったもの)
- ・取組を継続します。(例:成果をあげるためには年度を超えて取り組む必要のあるもの)

役職	産業労働部長	氏名	藤原 宣章
取 組 項 目		取 組 結 果	
<p>3 ビジットふくい</p> <p>全部局で取り組む「ビジットふくい」の推進に加え、市町村や観光事業者、観光関係団体と連携して季節毎に現場に出向き、観光客入込み状況を把握し観光客の声を直に聴き取るなど、観光に関する正確な数字や観光地の評価を収集・分析し、明確な目標をもった観光施策を推進します。</p>		<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>市町村や観光事業者、観光関係団体と連携して季節毎に現場に出向き、観光客入込み状況を把握するとともに、観光客の声を直に聴き取りました。</p> <p style="text-align: center;">〔観光地実態調査 10地域 延べ40回〕</p>	
<p>(社)福井県観光連盟は現地に出向き、観光事業者、観光協会、市町村等との結びつきを強め、「売れる旅行商品」の開発を促進するとともに、ターゲットを絞った観光客誘致に取り組みます。その際、観光プロデューサーの専門的ノウハウを十分活用します。</p> <p style="text-align: center;">〔秋・冬向けの新たな旅行商品開発 10商品〕</p>		<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>観光事業者・観光協会・市町村等が連携し、マイカープランやおろしそばミステリーツアーなどの旅行商品の開発に取り組みました。また、観光プロデューサーのノウハウを活かして観光事業者等に助言を行いました。</p> <p style="text-align: center;">〔夏・秋・冬向けの新たな旅行商品開発 10商品 送客実績3,331人 (2月末現在)〕</p> <p style="text-align: center;">観光プロデューサーによる助言等の状況</p> <p style="text-align: center;">観光事業者への助言 123回</p> <p style="text-align: center;">地域観光団体との意見交換 延べ 119回</p>	
<p>4 15,000人の雇用創出</p> <p>経済産業省の「若年者のためのワンストップサービスセンター」モデル事業の採択を受け、「若者就職支援センター(ジョブカフェ)」の機能を充実・強化し、県内の経済界や公共職業安定所と一体となって、職業教育から就職支援、職場定着まで一貫したフリーター、若年無業者、学生等の就職支援を行います。</p> <p style="text-align: center;">〔ジョブカフェ利用の就職人数 (学生を含む) 1,000人〕</p>		<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>経済産業省のモデル事業の採択を受け、6月20日にミニジョブカフェを9か所設置するなど全県的な相談体制の充実を図り、フリーター、若年無業者、学生等に対し、職業教育から職業紹介、職場定着までの一貫したこめ細かな就職支援サービスを実施しました。</p> <p style="text-align: center;">〔ジョブカフェ利用の就職人数 1,100人(学生を含む) (3月末見込み)〕</p>	

## 平成17年度 取組項目に係る結果報告(産業労働部)

(平成18年3月末現在)

### 【取組結果の区分】

- ・目標を上回って達成しました。(例:成果が目標を概ね2割を超えて達成されたもの)
- ・目標を達成しました。(例:成果が目標どおり達成されたもの)
- ・目標を一部達成しませんでした。(例:成果の一部が目標に及ばなかったもの)
- ・目標達成にはいたりませんでした。(例:成果が目標に及ばなかったもの)
- ・取組を継続します。(例:成果をあげるためには年度を超えて取り組む必要のあるもの)

役職	産業労働部長	氏名	藤原 宣章
取 組 項 目		取 組 結 果	
<p>求人と求職がかみ合わない状態(雇用のミスマッチ)を解消するため、中高年の失業者の意識啓発に主眼をおいたセミナーを開催します。また、産業技術専門学院において、講義と企業実習が一体となった職業訓練(デュアルシステム)を実施します。</p>		<p>〔成果等〕 目標を上回って達成しました。</p> <p>中高年齢者向けの再就職支援セミナーや若年未就職者を対象とした職業訓練「デュアルシステム(講義と企業実習が一体となった職業訓練)」を実施しました。</p>	
<p>〔セミナー参加者 500人 デュアルシステムによる訓練受講者の7割就職〕</p>		<p>〔再就職支援セミナー 参加者 614人(6か所) デュアルシステム(OA情報科、訓練期間4か月) 就職率 94.7% (訓練修了者 18人、就職のため中退 1人、 うち就職者数 16人)〕</p>	
<p>福井県Uターン情報センターにおいてジョブカフェとの連携を図りながら、ワンストップサービスを行うとともに、無料職業紹介を実施します。また、東京、大阪の福井Uターンセンターにおいて、首都圏、大阪圏の大学等を積極的に訪問し、本県出身者のUターン就職を促進します。</p>		<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>福井県Uターン情報センターを4月1日に県民会館からジョブカフェのある福井商工会議所に移転するとともに、6月1日からUターンの無料職業紹介を開始しました。また、首都圏、近畿圏の本県出身学生のUターン就職を促進するため、東京、大阪の福井Uターンセンターにおいて、大学等を積極的に訪問しました。</p>	
<p>〔Uターン就職人数 50人 大学等訪問数 延べ200校〕</p>		<p>〔Uターン就職人数 52人 大学等訪問数 延べ 355校〕</p>	
<p>○個別項目 1 新しい技術開発による産業の高付加価値化 企業訪問による共同研究の提案やセミナーの開催、県内大学との共同研究に対する支援などにより、県内企業の産学官共同研究への参加を促進します。また、工業技術センターでは、県内企業の身近な研究パートナーとして、企業ニーズに対応した共同研究を行います。</p>		<p>〔成果等〕 目標を上回って達成しました。</p> <p>工業技術センター、農業試験場などの県内公設試験研究機関や(財)ふくい産業支援センター、(財)若狭湾エネルギー研究センターにおいて、新たに産学官共同研究事業を実施したことにより、目標を上回る企業等が産学官共同研究に参加しました。</p>	
<p>〔新たに産学官共同研究に参加する企業数 36社〕</p>		<p>〔新たに産学官共同研究に参加した企業数 69社〕</p> <p>新事業支援産学官ネットワーク形成事業で可能性試験調査研究に参加した企業数 36社</p>	

## 平成17年度 取組項目に係る結果報告(産業労働部)

(平成18年3月末現在)

### 【取組結果の区分】

- ・目標を上回って達成しました。(例:成果が目標を概ね2割を超えて達成されたもの)
- ・目標を達成しました。(例:成果が目標どおり達成されたもの)
- ・目標を一部達成しませんでした。(例:成果の一部が目標に及ばなかったもの)
- ・目標達成にはいたりませんでした。(例:成果が目標に及ばなかったもの)
- ・取組を継続します。(例:成果をあげるためには年度を超えて取り組む必要のあるもの)

役職	産業労働部長	氏名	藤原 宣章
取組項目		取組結果	
<p>工業技術センターをはじめとする試験研究機関において、繊維や金属加工、バイオテクノロジーなど本県が有する優れた技術を基にした先端技術開発を行います。また、開発した技術の企業等への移転を積極的に行うとともに、企業における事業化に向けた取組みを支援します。</p>		<p>〔成果等〕 目標を一部達成しませんでした。</p> <p>公設試験研究機関において、炭素繊維の開繊技術やチタン加工技術、レーザー加工技術などの先端技術に関する28テーマの研究開発を実施するとともに、平成16年度に研究が終了した6テーマについては、成果普及講習会などを開催し、県内企業等への成果移転を推進しました。また、共同研究成果や特許などの技術を活用した事業化研究を行う県内企業6社に対して、事業化研究の経費の一部を助成を行いました。</p>	
<p>試験研究機関の特許出願件数 10件                      成果移転研究件数 7件                      事業化研究支援企業数 7社</p>		<p>試験研究機関の特許出願件数 26件                      成果移転研究件数 6件                      事業化研究支援企業数 6社</p>	
<p>工業技術センターでは、保有する特許やノウハウを積極的に県内企業に利用してもらうため、研究者が自ら、研究実績や研究に懸ける思いを紹介するためのホームページを作成し、より親しみやすく利用しやすい研究機関を目指します。</p>		<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>平成17年4月の科学技術週間期間中、小・中学生を対象とした技術体験教室の実施や、11月の県庁1階県民ホールにおいて、プラスチック光ファイバー織物などを展示しました。また、平成17年9月には、工業技術センターのホームページを、研究者一人ひとりの紹介や、センターの利用方法などを分かりやすく紹介したものにリニューアルしました。</p>	
<p>2 やる気のある企業や創業に対するバックアップ                      (財)ふくい産業支援センターに、民間企業で豊富な経験を持ち、企業経営に精通したプロジェクトマネージャーを引き続き配置するとともに、商工会議所との連携強化するなど、「5000の新規創業」達成に取り組めます。</p>		<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>民間企業で豊富な経験を持ち、企業経営に精通したプロジェクトマネージャー、サブマネージャーを引き続き配置するとともに、商工会議所との連携を強化するなど、「5000の新規創業」達成に取り組みました。</p>	
<p>プロジェクトマネージャー等の企業訪問 延べ 270社                      産業支援センターの支援による新規創業 70社                      産業支援センターの支援による経営革新 50社                      商工会議所等民間の支援による新規創業 180社</p>		<p>プロジェクトマネージャー等の企業訪問 延べ302社                      産業支援センターの支援による新規創業 70社                      産業支援センターの支援による経営革新 52社                      商工会議所等民間の支援による新規創業 200社                      (3月末見込み)</p>	

## 平成17年度 取組項目に係る結果報告(産業労働部)

(平成18年3月末現在)

### 【取組結果の区分】

- ・目標を上回って達成しました。(例:成果が目標を概ね2割を超えて達成されたもの)
- ・目標を達成しました。(例:成果が目標どおり達成されたもの)
- ・目標を一部達成しませんでした。(例:成果の一部が目標に及ばなかったもの)
- ・目標達成にはいたりませんでした。(例:成果が目標に及ばなかったもの)
- ・取組を継続します。(例:成果をあげるためには年度を超えて取り組む必要のあるもの)

役職	産業労働部長	氏名	藤原 宣章
取 組 項 目		取 組 結 果	
無担保、第三者保証人不要で最高1億円を融資する開業特別支援資金などを活用し、雇用創出効果の大きい製造業や情報サービス業を中心に、県内外の意欲ある人材による創業を強力に支援します。		【成果等】 目標を一部達成しませんでした。 開業特別支援資金を活用し、意欲ある人材による創業を強力に支援しました。	
(開業特別支援資金による新規創業 30社 意欲ある企業支援資金による第二創業 30社)		(開業特別支援資金による新規創業 30社 (見込み) 意欲ある企業支援資金による第二創業 5社 (見込み))	
(財) ふくい産業支援センターにおいて、現場主義・顧客主義・成果主義に徹し、統合による産業支援機能の一元化の成果を十分に生かして、本県経済の活性化に寄与する企業を重点支援企業と位置づけ、集中的に支援し、企業の成長・発展を促進します。		【成果等】 目標を達成しました。 (財) ふくい産業支援センターにおいて、現場主義・顧客主義・成果主義に徹するとともに、統合による一元的な支援を実施し、支援企業の売上高増や5社の「新連携」企業の認定など、企業の成長・発展を促進しました。	
(販路開拓、企業連携の促進 30社 優秀な人材確保などの支援により売上増等の成果をあげる企業 女性企業家異業種交流会の開催 3回 女性の新規創業 5社)		(販路開拓、企業連携の促進、優秀な人材確保などの支援により売上増等の成果をあげる企業 30社 女性企業家異業種交流会の開催 3回 女性の新規創業 9社)	
産学官連携による福井発の独自ソフトウェア開発など、雇用の拡大が見込まれるIT関連産業を育成します。		【成果等】 目標を達成しました。 産学官連携の共同研究グループが10件結成され、共同研究に取り組みました。 また、16年度共同研究グループのうち優秀な2件について、実際に開発に取り組みました。	
(福井発独自ソフトウェア開発に向けた企業・大学の共同研究 10件 独自ソフトの開発 2件)		(福井発独自ソフトウェア開発に向けた企業・大学の共同研究 10件 独自ソフトの開発 2件)	

## 平成17年度 取組項目に係る結果報告(産業労働部)

(平成18年3月末現在)

### 【取組結果の区分】

- ・目標を上回って達成しました。(例:成果が目標を概ね2割を超えて達成されたもの)
- ・目標を達成しました。(例:成果が目標どおり達成されたもの)
- ・目標を一部達成しませんでした。(例:成果の一部が目標に及ばなかったもの)
- ・目標達成にはいたりませんでした。(例:成果が目標に及ばなかったもの)
- ・取組を継続します。(例:成果をあげるためには年度を超えて取り組む必要のあるもの)

役職	産業労働部長	氏名	藤原 宣章
取 組 項 目		取 組 結 果	
<p>県内外の先進的なサービス業の成功事例に関する情報提供や、地域助け合いビジネスの起業化支援、商業・サービス業を担う人材の育成などを通じてサービス産業の活性化を図ります。</p>		<p>〔成果等〕 目標を一部達成しませんでした。</p>	
<p>HPでの先進的サービス業成功事例の情報提供</p> <p>地域助け合いビジネスに取り組む事業者 10社</p> <p>人材育成セミナー参加者の7割が個店改善</p>		<p>先進的サービス業の情報提供を実施しました。地域助け合いビジネスに取り組む事業者は8社でした。人材育成セミナーにより個店改善に取り組む事業者が増えました。</p> <p>HPでの先進的サービス業成功事例の情報提供 (4月から提供)</p> <p>地域助け合いビジネスに取り組む事業者 8社</p> <p>人材育成セミナー参加者57名のうち、52名(約9割)が個店改善の取組み</p>	
<p>「ふくい南青山291」の運営を民間事業者に業務委託し、企業の経営手法を取り入れ、運営経費の節減や展示県製品の販売増に取り組めます。また、東京・大阪圏にアドバイザーを設置し、県内企業の取引先拡大のためのマッチング等を実施します。</p>		<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p>	
<p>ふくい南青山291の来館者数および売上額</p> <p>上半期 前年比 5%増</p> <p>下半期 前年比 10%増</p> <p>東京・大阪圏などでの取引あっせん件数 200件</p> <p>うち成約・見積件数 30件</p>		<p>10月からの民間事業者&lt;(株)電通&gt;への業務委託により、民間事業者の有するノウハウやネットワークを活用して、県産品の販売増加を図るとともに、施設および県産品の広報、PR等の情報発信に積極的に取り組みました。</p> <p>施設来客数 43,138人 (前年同期比108.7%) (3月末見込み)</p> <p>売上高 37,957千円(前年同期比118.9%) (3月末見込み)</p> <p>東京・大阪圏などでの取引あっせん件数 270件 (2月末現在)</p> <p>うち成約・見積件数 57件 (2月末現在)</p>	
<p>3 新たな販路開拓</p> <p>平成16年3月に策定した「東アジア・マーケット開拓戦略プラン」に基づき、本県企業の海外での展示商談会への出席等を支援します。</p>		<p>〔成果等〕 目標を上回って達成しました。</p>	
<p>東アジアでの県内企業の商談件数 800件</p> <p>出展補助展示会での成約件数 85件</p>		<p>展示商談会をマーケット開拓活動の最も重要な商談活動の場と位置づけ、県内企業や業界団体が行ったインターテキスタイル上海や北京および上海国際眼鏡展への出展に対し支援した結果、商談および成約件数が増加しました。また、国、県、ジェトロ福井と福井商工会議所が協力して企画した、貿易の基礎知識の習得から中国のバイヤーとの商談会まで行う「中国市場参入プログラム」を実施しました。</p> <p>東アジアでの県内企業の商談件数 1,102件 (3月末見込み)</p> <p>出展補助展示会での成約件数 118件 (3月末見込み)</p>	

## 平成17年度 取組項目に係る結果報告(産業労働部)

(平成18年3月末現在)

### 【取組結果の区分】

- ・目標を上回って達成しました。(例:成果が目標を概ね2割を超えて達成されたもの)
- ・目標を達成しました。(例:成果が目標どおり達成されたもの)
- ・目標を一部達成しませんでした。(例:成果の一部が目標に及ばなかったもの)
- ・目標達成にはいたりませんでした。(例:成果が目標に及ばなかったもの)
- ・取組を継続します。(例:成果をあげるためには年度を超えて取り組む必要のあるもの)

役職	産業労働部長	氏名	藤原 宣章
取組項目		取組結果	
<p>4 海外との経済交流の促進 東アジアにおける県内企業の販路開拓を支援するため、上海事務所ビジネスコーディネーターの利用を促進します。また、海外事務所が前線基地となって県産品の売込みや観光客誘致を行います。</p>		<p>〔成果等〕 目標を上回って達成しました。</p> <p>県内で上海事務所ビジネスコーディネーターの講演会や相談会を開催するなど県内企業の利用を促進した結果、県内企業の利用が増加しました。また海外事務所が米や眼鏡をはじめとする県産品の売込みや観光客誘致を行った結果、目標を上回る成約数や誘客数を達成しました。</p>	
<p>〔県内企業のビジネスコーディネーターへの相談件数 50件 東アジアでの県内企業の成約件数(海外事務所支援分) 50件 17年度売込み品目 上海:眼鏡 香港:米 外国人旅行者数(海外事務所誘客分) 800人〕</p>		<p>〔県内企業のビジネスコーディネーターへの相談件数 79件 東アジアでの県内企業の成約件数(海外事務所支援分) 78件(見込み) 17年度売込み品目 上海:眼鏡 291ブランドなど34件成約 香港:米 香港3.15t、台湾250kg成約 外国人旅行者数(海外事務所誘客分) 2,586人 (1月末現在)〕</p>	
<p>県が海外から受け入れる国際交流員等を本県と海外の経済交流に活用します。また、これまで中国浙江省などから受け入れた研修員のネットワークを構築し、その情報を県内経済界に提供します。</p>		<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>中国浙江省からの国際交流員を活用し、中国での事業展開を考えている企業に情報提供・アドバイスを行いました。また、同省の技術研修員を、中国とのビジネス交流促進を目指す民間企業で受け入れ、研修交流を行いました。また、海外向けの情報発信・収集に役立てることを目的に、過去に受入れた技術研修員や友好大使、留学経験者と県との間で電子メールによるネットワークを構築し、その情報を課のホームページで公開しました。</p>	
		<p>〔国際交流員の活用 48件 浙江省技術研修員の受入企業 福井放送、福井テレビ、グランディア芳泉、芦原国際ホテル美松 ネットワークの構築 参加者数:技術研修員50名(浙江省25名、ブラジル25名) 友好大使 73名 留学経験者10名〕</p>	
<p>中国での本県の知名度アップや中国との交流促進に活用するため、魯迅と藤野厳九郎との関係について、あわら市と協力して中国の魯迅記念館の所蔵品など関係資料の調査およびその活用方法の検討を行います。</p>		<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>国内外の識者や関係施設を訪問し、協力関係の構築を図るとともに、魯迅と藤野厳九郎に関する資料や文献についての情報収集およびその活用方法の検討を行いました。</p>	
		<p>〔調査実績 関係施設訪問先:北京魯迅博物館、東北大学 識者訪問先:藤井省三東京大学文学部教授 他6名 ・関係施設との協力関係の構築 北京魯迅博物館長が来県し、県に魯迅「脈管学ノート」複写本を寄贈 ※「脈管学ノート」複写本は、3月末まで県国際交流会館にて一般公開〕</p>	



## 平成17年度 取組項目に係る結果報告(産業労働部)

(平成18年3月末現在)

### 【取組結果の区分】

- ・目標を上回って達成しました。(例:成果が目標を概ね2割を超えて達成されたもの)
- ・目標を達成しました。(例:成果が目標どおり達成されたもの)
- ・目標を一部達成しませんでした。(例:成果の一部が目標に及ばなかったもの)
- ・目標達成にはいたりませんでした。(例:成果が目標に及ばなかったもの)
- ・取組を継続します。(例:成果をあげるためには年度を超えて取り組む必要のあるもの)

役職	産業労働部長	氏名	藤原 宣章
取組項目		取組結果	
<p>5 活かそう熟年パワー 熟年人材情報や仕事探しに必要な情報およびシルバー人材センターの活動事例などを掲載したホームページにより県民の方に広く熟年者の情報を提供し、企業を支援します。</p> <p style="text-align: center;">〔シルバー人材センター就業延べ人数 延べ880,000人〕</p>		<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>熟年人材情報およびシルバー人材センター活動事例を掲載したホームページにより、県民の方に広く熟年者の情報を提供しました。</p> <p style="text-align: center;">〔シルバー人材センター就業延べ人数 延べ898,000人 (3月末見込み)〕</p>	
<p>6 敦賀港、福井港のポートセールスの推進 企業誘致や貿易振興と連携したポートセールスを推進し、敦賀港および福井港の利用企業数、取扱貨物量の増加に取り組めます。</p> <p style="text-align: center;">〔企業訪問 延べ200社 敦賀港 コンテナ貨物の利用企業数 前年比5%増 貨物取扱量 前年比1,000TEU増 福井港 外航船入港隻数 80隻〕</p>		<p>〔成果等〕 目標を一部達成しませんでした。</p> <p>企業へのポートセールスを積極的に行った結果、「関税法上の開港」が実現した福井港については、外航船の入航隻数が昨年を大きく上回る実績となりました。一方で、敦賀港については、韓国との定期コンテナ航路の貨物量が順調に伸びたものの、中国との定期コンテナ航路の運休の影響で貨物量は減少しました。</p> <p style="text-align: center;">〔企業訪問 延べ225社 敦賀港 コンテナ貨物の利用企業数 2%減(平成17年) 取扱貨物量 603TEU減(平成17年) 福井港 外航船入港隻数 101隻(平成17年)〕</p>	
<p>7 まちづくり アーケードの整備や空き店舗を活用したチャレンジショップの設置・運営を行うとともに、1店1品運動をはじめとする商店街等の創意工夫による活性化事業に対し支援を実施します。</p> <p style="text-align: center;">〔1店1品運動研究会参加者の7割が運動実践 福井駅前電車通り、福井駅前南通りのアーケード整備 チャレンジショップ 5店舗〕</p>		<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>アーケード(平成17年度実施分)が年度内に完成しました。チャレンジショップの運営に支援し、中心市街地の活性化に寄与しました。1店1品運動により、具体的に店舗改善に取り組む事業者ができました。</p> <p style="text-align: center;">〔1店1品運動研究会参加者の7割弱が運動実践に取り組む予定 福井駅前電車通り、南通りアーケード整備が完成(2月) チャレンジショップ 5店舗〕</p>	
<p>福井駅前において、若手経営者、新規出展者、学生等と協働して、まちの情報発信力の強化や商店街の魅力向上につながる体制づくりに取り組みます。</p>		<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>福井駅前での若手経営者、学生等との協働した取組みを支援するとともに、まちの情報力強化や商店街の魅力向上につながる学生の街づくりへの参加を促しました。</p> <p style="text-align: center;">〔若手経営者との意見交換会 3回 若手経営者らによるファッションショーの実施(8月) 学生等との意見交換会に参加 3回 県内四大学の学生らが自発的に、グループ「トマトネットワーク」を結成し、活動を実践〕</p>	

## 平成17年度 取組項目に係る結果報告(産業労働部)

(平成18年3月末現在)

### 【取組結果の区分】

- ・目標を上回って達成しました。(例:成果が目標を概ね2割を超えて達成されたもの)
- ・目標を達成しました。(例:成果が目標どおり達成されたもの)
- ・目標を一部達成しませんでした。(例:成果の一部が目標に及ばなかったもの)
- ・目標達成にはいたりませんでした。(例:成果が目標に及ばなかったもの)
- ・取組を継続します。(例:成果をあげるためには年度を超えて取り組む必要のあるもの)

役職	産業労働部長	氏名	藤原 宣章
取組項目		取組結果	
<p>8 観光客をひきつける魅力づくり 本県の観光地を連想させる魅力ある土産品の開発を促進するため、開発・改良に熱心に取り組む土産品製造業者を支援するとともに、菓子土産品を全国にPRするイベントを開催します。</p>		<p>〔成果等〕 目標を一部達成しませんでした。</p> <p>土産品製造業者向けの研修会を開催するとともに、ユニークな土産品開発の取組みに対して支援しました。また、国民文化祭産業文化フェスティバルにあわせて「ふくい菓子博2005」を開催し本県の菓子を全国にPRしました。</p>	
<p>〔土産品研究会に参加する製造業者・加工業者 40社〕</p> <p>〔改良された土産品 5品目〕</p>		<p>〔土産品研究会(8月)に参加した製造業者・加工業者 51社〕</p> <p>〔改良を支援した土産品 2品〕</p> <p>〔ふくい菓子博2005の開催(10月28日~30日) 来場者 105,000人〕</p>	
<p>「語り部」や通訳ボランティアガイド、エコグリーン・ツーリズム・インストラクターなど観光客と直に接する人材を育成することにより、県全体のホスピタリティの充実に取り組みます。</p>		<p>〔成果等〕 目標達成にはいたりませんでした。</p> <p>各種の研修会や「語り部発表会」を開催し、観光客と直に接する人材の育成に取り組みました。</p>	
<p>〔「語り部」や通訳ボランティアガイドなどの登録人数 600人〕</p>		<p>〔「語り部」や通訳ボランティアガイドなどの登録人数 588人 (3月末見込み)〕</p>	
<p>国内旅行志向が強い中高年齢層や旅行先の決定権を握るといわれる女性をターゲットとして、情報発信や観光コースの開発に取り組めます。</p>		<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>旅行エージェント等と連携し、中高年齢層や女性をターゲットにした情報発信や新たな旅行商品の開発に取り組み、観光客誘致につなげました。</p>	
<p>〔「おもいきりテレビ」「おとなのいい旅」等を活用した情報発信〕</p> <p>〔中高年齢層・女性向けの旅行商品 20商品 送客実績 10,138人 (2月末現在)〕</p>			
<p>教育旅行の誘致に当たっては、中京・関西地区を主なターゲットとするほか、姉妹関係のある地域を対象に重点的に取り組みます。</p>		<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>県外の小中学校等を積極的に訪問し教育旅行の誘致に取り組んだ結果、本県を訪れた児童生徒が増加しました。</p>	
<p>〔県外小中学校等訪問件数 延べ100件〕</p> <p>〔県外からの教育旅行(体験学習)者数 5,000人〕</p>		<p>〔県外小中学校等訪問件数 延べ106件〕</p> <p>〔宿泊した県外からの教育旅行(体験学習)者数 43校 5,275人〕</p>	

## 平成17年度 取組項目に係る結果報告(産業労働部)

(平成18年3月末現在)

### 【取組結果の区分】

- ・目標を上回って達成しました。(例:成果が目標を概ね2割を超えて達成されたもの)
- ・目標を達成しました。(例:成果が目標どおり達成されたもの)
- ・目標を一部達成しませんでした。(例:成果の一部が目標に及ばなかったもの)
- ・目標達成にはいたりませんでした。(例:成果が目標に及ばなかったもの)
- ・取組を継続します。(例:成果をあげるためには年度を超えて取り組む必要のあるもの)

役職	産業労働部長	氏名	藤原 宣章
取組項目		取組結果	
<p>9 サンドーム福井の利活用 県民がより利用しやすい県有施設として、無料貸出日の設定や外周ジョギングコースの設定などを行うとともに、産業会館など他の施設と連携し、イベント企画業者等への積極的なセールスを展開します。</p> <p style="text-align: center;">〔営業活動回数 250回〕</p>		<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>サンドーム福井の無料貸出を実施しました。また、走行距離がわかる看板の設置など、外周ウォーキングコースの整備をしました。さらに、県産業会館と連携し、イベント企画業者等へのセールスを展開しました。</p> <p style="text-align: center;">〔無料貸出日 平成18年3月18、19日(2日間)〕</p> <p style="text-align: center;">〔営業活動回数 258回〕</p>	
<p>10 「ふくい2030年の姿」の具体化 健康な60歳から75歳までの「達年」と呼ばれる高齢者の技能や経験を活用する場の提供や、豊富な技能や経験を有する方々を県外から本県に呼び込むことなど、地域社会の活力を高める仕組みを検討します。</p>		<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」に基づき、65歳までの定年の引上げ、継続雇用制度の導入等の普及啓発に努めました。また、中高年齢者の豊富な技能や経験を活用するため、就労、NPOおよび就農相談などの情報提供や、再就職など就労を支援するセミナーを18年度から開催します。</p>	
<p>炭素繊維開繊技術や光ファイバー織物技術など、世界をリードする最先端技術に発展する可能性の高い、福井県の有する「他に真似のできない技術」を国際的な学会等で発表するなど、福井の「みらい技術」を世界に向けて発信する仕組みを検討します。</p>		<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>工業技術センターの有する最先端技術を国内外の国際学会等において発表しました。</p> <p style="text-align: center;">〔プラズマ国際学会(カナダ 8月) プラズマ発生技術〕</p> <p style="text-align: center;">〔プラスチック光ファイバー国際会議(香港 9月) 光ファイバー織物技術〕</p> <p style="text-align: center;">〔国際クレイ会議(東京 8月) 機能性天然鉱石関連技術〕</p>	
<p>多様な地域住民が主体となって、介護やまちづくりなどの地域課題を解決する地域助け合いビジネスが活発に展開されるよう、福井の地域特性に沿ったニーズの発掘とその事業化手法の検討を行います。</p>		<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>地域助け合いビジネス塾を開催し、計画を超える70名の参加を得ました。 17年度における新規取組事例が8件ありました。</p> <p style="text-align: center;">〔地域助け合いビジネス塾の開催(6月) 70名参加〕</p> <p style="text-align: center;">〔地域助け合いビジネスの起業 8件〕</p>	